

平成 27 年度 第 1 回 しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成 27 年 5 月 28 日 (木)

13 時 40 分～15 時 00 分

場所 上田市 上田駅前ビル「パレオ」2F 会議室

1 開 会

会議成立の報告 (事務局)

委員 26 名中 17 名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。
(協議会規約第 6 条第 2 項)

2 あいさつ (しなの鉄道活性化協議会会長)

皆さんこんにちは。しなの鉄道専務の山田でございます。本日は本年度第 1 回の活性化協議会ということで、皆様大変お忙しい中ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。ご案内のように総合連携計画でございますが昨年度をもって終了致しました。おかげさまをもちまして沿線自治体を始め関係の皆様の大変なご支援ご協力により、計画をしていた事業につきましては概ね実施できたのではないかと考えております。改めて皆様方のご理解ご協力で深く感謝を申し上げます。

昨年度の輸送人員でございますが、現在最終的な数字の確定作業をしておりますが、年度当初には消費税率アップがございまして、その反動減などもありましたが、年間を通して何とか目標としております年間 1,000 万人以上を達成できる見込みとなっております。正式には来週開催されます取締役会において報告を致しますけれども、何とか 1,000 万人はクリアできそうだということでございます。従来右肩下がりということで、大変な危機感をもって取り組んでおったわけですが、ここ数年は何とか持ちこたえ、むしろ若干上向きということでございます。これも皆様方のご努力によるものと深く感謝をしております。また、中長期的には少子高齢化ということで、減少傾向は避けられないということがございますので、今の流れを何とか維持をしていきたいと思っておりますので、是非ともご協力の程をよろしくお願い申し上げたいと思っております。

ところで、この 3 月 14 日に北しなの線が開業いたしました。初日には架線の凍結により、若干の混乱もありましたが、以後は概ね順調に運行がされております。従来から北しなの線に関しては繰り返し申し上げてまいりましたけれども、当社にとっては、いわば第 2 の開業ということでございます。利用促進その他大変課題も多いのですが、何とか踏ん張って、そしてこの協議会と連携を取りながら安定軌道に乗せていきたいと思っておりますので、この面についても、是非ご協力の程をお願いしたいと思います。

それから、観光列車「ろくもん」の関係でございますけれども、昨年 7 月の運行開始からまもなく 1 年を迎えようということになっております。運行開始当初は若干知名度の不足と

ということもございまして、乗車率につきましては5割から6割程度だったのですが、ここへきて全国ネットのテレビ番組に度々取り上げられる、或いは雑誌などにも掲載されるという様な事があって、うなぎ上りに数字が伸びておりまして、ほぼ連日満員状態でございます。なかなか2ヶ月先3ヶ月先の予約も取れないといった、当社にとっては大変うれしい状況が続いております。それから、利用されたお客様に伺っても、大変サービスのクオリティが高いということでご好評をいただいております、もともとこの観光列車の基本的なコンセプトが、しなの鉄道沿線地域の魅力満載列車ということでございますので、今後とも是非この観光列車というツールを利用して沿線地域の活性化が図られるような、そういう努力をしていきたいと思っておりますので、是非、この面につきましてもご協力の程をお願いしたいと思います。

本日でございますけれども、昨年度の事業実績を報告させていただくということと併せて、本年度の事業計画等についてご協議をいただく予定でございます。是非とも皆様の活発なご議論を期待致しまして冒頭にあたりましてのご挨拶と致します。今日は宜しくお願い致します。

3 協議事項（議長：会長 協議会規約第6条第1項）

(1) しなの鉄道活性化協議会規約の一部改正について

事務局から「資料1」を説明。

（異議なし）

（原案のとおり承認。）

(2) 役員を選任について

事務局から「資料2」を説明。

<議長>

ただ今説明がございましたように、副会長職に上田市さんが組織変更で委員が変更になるということに伴いまして、副会長職を改めて選任したいということでございますが、いかが取り扱ったらよろしいでしょうか。

（意見）

ア. 副会長職につきましては、引き続き上田市さんの政策企画部長様に是非お願いしたいということでご推薦をさせていただきたいと思っております。いかがでしょうか。

<議長>

ただ今の長野市さんの方から、引き続き上田市さんの政策企画部長様をお願いしたらどうかというご提案がございましたが、いかがでしょうか。

(異議なし。満場一致で承認。)

<議 長>

異議なしという声がございますので、上田市の政策企画部長さんに副会長ということでお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

(副会長あいさつ)

今、副会長に選任をいただきました上田市の政策企画部長の金子義幸と申します。

この度4月の組織改正、今まで政策企画局ということで事業課をあまり抱えていなかったのですが、政策企画部ということで地域交通につきましても私の担当ということになりまして、皆様にお手を煩わせて規約改正をしていただきました。上田市としては、今までの都市建設部を担当から移したということにつきましても、もう少し広い政策的意味を持たせて市交通を考えていけということでございますので、地域住民の皆様の足というのはもちろんですが、今後増加されると思います NHK 大河ドラマ放送に伴う観光客の皆様の足について考えていきたいと思っています。また、この会の活性化という意味で、今後一生懸命やりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いしたいと思います。

(3) 平成26年度しなの鉄道活性化協議会事業報告について

(4) 平成26年度しなの鉄道活性化協議会決算について

事務局から「資料3」「資料4」を一括説明。

監査報告：監査委員による出納監査結果を報告。

<議 長>

今の説明でもあったのですが、軽井沢・小諸間の実証運行について、総合連携計画の計画期間が終了したということなのですが、この後予算の方でも説明致しますけれども、本年度も引き続き実施したいと考えています。ただ、総合連携計画が終わったということで、とりあえず一区切りとして、本当は昨年度、これについて検証をしたいということで主要な経費も計上していたのですが、先ほど事務局から説明があったように、検証については今年度を送ったということで、いずれにしても事業の実施状況の効果或いは課題等について今年度は十分に検証をしたいと思いますが、それを含めて、どうでしょうか。小諸市さん、何かご意見がありましたら。

(質問・意見等)

イ. 増便事業ですけれども、小諸市は公共交通の見直しをしまして、できれば今の定時定路線で昼間の利用者のこともやっていますが、今後見直しをかけているのが通勤通学に特化した定時定路線とデマンドタクシーをやりたいと考えています。増便の

部分についてはできれば継続し、市としても定時定路線の通勤通学に特化した部分は運行していきたいと考えています。

<議 長>

ありがとうございました。

軽井沢町さん、御代田町さんは関係されておりまして、大変な額の負担金も支払っていただいているのですが、どうでしょうか。軽井沢町さんはいかがですか。

ウ. 数字上からも年々伸びてきていますので、増便事業の他にもそうですが、他の要因もあるということで検証をされていくのでしょうか、新幹線の金沢延伸の影響も含めてお願いしたいと思います。

エ. 御代田も同じです。継続して住民の足を確保したいということもありますので、継続していきたいという状況に変わりありません。

<議 長>

ありがとうございました。

今も出ておりましたが、効果という意味では、軽井沢・小諸間のお客様の伸び率は他の区間と比べて高いということもあって、数字的には効果が出ているという形にはなっています。ただ、詳細に見てみますと、時間帯によっては若干ばらつきがあったり、色々課題もあるものですから、それを含めて本年度、少し検証をしてみたいと思っておりますので、よろしく願いをしたいと思います。

他にございますか。ございませんので、昨年度の事業報告、決算につきましては御承認いただいたということによろしいでしょうか。

(異議なし。一括して承認。)

(5) 平成 27 年度しなの鉄道活性化協議会事業計画 (案) について

(6) 平成 27 年度しなの鉄道活性化協議会予算 (案) について

事務局から「資料 5」「資料 6」を一括説明。

(質疑・意見等)

オ. 昨年もお話し上げて、実施をしていただきました、プロスポーツチームの関係で、是非とも、パルセイロもありますし、千曲市でもブレイブウォリアーズがありますし、当日の試合について、事前の宣伝なども車内で「いつあるよ」とか、そんな車内放送ができれば、どんなもんだらうかなと。或いは、試合の当日には、試合の結果速報を車内放送で流して、「皆さん応援ありがとうございました」みたいな、耳にうったえることをしていただいて、しなの鉄道と地域のプロスポーツとの連携を是非図っていた

できればありがたいと思います。よろしくお願いします。

<議長>

ありがとうございました。

先ほどの事業計画の中でも説明しましたが、沿線のプロスポーツチームとの連携ということで、今年度も力を入れてやっていきたいなと思っております。

昨年、ラッピング列車を利用して、パルセイロの関係なのですが、応援列車を走らせたり、一定の事はやっているのですが、もう少し一歩前へ出た形というものをできないかということで色々考えております。是非、皆様ご意見があったら、或いは、こういうことやったらどうかという様なことがあったら提案をしていただきたいと思います。先日、パルセイロの関係でパネルディスカッションがあったのですが、その時に、篠ノ井の商店街の方がパネリストで来られまして、是非、しなの鉄道と連携をして駅前で例えば試合前にイベントをやるだとか、或いは、会場まで楽しんで歩いて行けるような仕組みを作りたいとか、色々考えておられるので、是非、地域の方々とも連携した取り組みということも一つやってみたいと思っています。

それから、今ご提案があったように、列車の中での色んなインフォメーション、例えば試合結果など含めてやったら面白いんじゃないかなと思います。もっともっと前へ出たいということで、去年、応援列車の運転士に、いっそパルセイロのユニフォームを着せて走ったらどうかという様な話もしたんですが、鉄道の関係の規則があって出来ないということなので、せめてシールを貼るなど、また、会社全体としてパルセイロを応援することなどができればいいと思います。

もちろん、パルセイロだけでなく、ブレイブウォリアーズの関係も同じなので、是非、沿線のプロスポーツチームとの連携によって地域の活性化を図っていく方向で検討したいと思っています。

カ. 事業の中で、沿線駐車場のマップのリニューアルということがございますけれど、しなの鉄道を利用するにおいても、駐車場というのはやはり必要だと思うのですが、このリニューアルということは、駐車場が増えてきたりしているということも関係があるのでしょうか。増えているのでしょうか。

<事務局>

沿線駐車場マップにつきましては、平成 22 年度に一度作成を致しまして、その背景には、列車を利用するには、最寄り駅まで車でいきたいといったニーズを受けまして作成したものでございます。当時から比べますと、駐車場が駅周辺で増えている箇所、また、逆に無くなっている場所等々ございまして、情報の更新が必要といったことも、このリニューアルの動機の一つとして考えております。また、併せまして、しなの鉄道という一つの会社で見ますと、北しなの線沿線に関する情報がまだ少なからう、表向きに出している情報が少ないという背景もございますので、その合わせて一体となったものを作成し直したいという意図がございます。

キ. 今年度の事業計画で、屋代駅と小諸駅へのエレベーターの設置が進んでいるというのですが、昨年、坂城町の駅にエレベーターを付けました。他の駅にもついてこないと効果がないことですので、是非、進めていただければ非常にありがたいと思います。

それから、[平成 27 年事業計画案の] (1)、1)「より利用しやすいダイヤ」に関連して、今、上田駅から長野駅の直通の快速列車がございしますが、坂城だけの事なのか、皆そうなのか分かりかねますが、丁度通勤通学の一番いい時間帯にその列車が走っているのです、坂城町始めその沿線では、当然直通ですので乗れません。この見直しも、より使いやすいようにならないものかという要望であります。

もう一点、駅舎の整備について、若干違うかもしれませんが、この 4 月から券売機がリニューアルをされていると思いますけれども、これに伴って券売機の数が今まで 2 つあったのが、坂城の場合で言いますと、1 つになっています。窓口でも今までは発券ができたのですが、出来なくなるという様な事がございします。利用者にとっては、1 つの券売機しかないという状況で、これが詰まってしまったりすると、切符が買えないという状況がでてきます。この辺の改善が何とかできないかということが要望でございします。是非、ご検討していただければと思います。よろしくお願い致します。

<議 長>

ありがとうございました。

いくつかご質問なりご要望いただきましたけれども、最初のエレベーターの関係については、私共も計画的に進めておりまして、バリアフリーという観点で進めなければいけない事業で、計画に沿って順次進めていきたいと思っております。今の計画の中では、補助金の関係もあって、要件的には 3,000 人以上というのがあるのですが、バリアフリーという観点からは、必ずしもそれに関わらないという観点も必要であるので、十分に検討していきたいと思っております。

それから、上田・長野間直通列車が坂城に停まらないということですが、特別快速的な形でやっているのですが、途中駅の方は乗れないということで、ある意味では利便性という点で問題があるのですが、前後の色々な列車の組み合わせで補ったりすることもあります、そういうご要望があったということで、総合的な観点から検討は進めていかなければいけないと思っております。

券売機ですが、この 3 月から新しい券売機を導入して、従来にはない機能も新たに付加してあります。ただ、そうは言っても 2 台から 1 台になったということで、特にお客様が集中する様な時には不便をかけるという面があるのですが、一方では機能向上によって利便性が増したということもあります。不便さの方が多いということになると色々問題もあるので、地元でそういう声があるということは承知しておりますので、総合的に検討していきたいと思っております。

ク. 小諸の駅舎の事ですけど、昭和 24 年に出来た駅舎を平成 15 年に造り替えるとい

う市民の議論を経て、その後平成 22 年には複合交流センター併設の駅舎を造ろうとしていたのですが、それが中止になった後は、市として今後どうするかといった方向性は出ていない状況です。

ひとつお聞きしたいのが、2 月の北しなの線の講演会の時に、小諸市出身の清水さんが講演した中で、都会の人にとっては、今の駅舎は郷愁があるといった意味で残してもらいたいと言われたのですが、鉄道会社のしなの鉄道さんはどのように考えられているのか。考えがあれば教えていただきたいと思います。

<議 長>

小諸駅なんですけど、今おっしゃった様に色んな経過があって、数年前に図書館の併設計画があって、それを橋上駅にするということでもかなり進んでいたのですが、色々な事情があって取り止めになって、今は白紙だということですが。その後今日に至るまで、小諸駅だけではないのですが、小諸の町づくりと言いますか町の活性化に向けて、市民の皆さんが中心になって自分たちの町のあり方を考えてみようという運動があった、今もあると思うのですが。その中心になってやっておられたのが、今お話のあった清水慎一先生でして、しなの鉄道も参加したらどうだという誘いがあって、私もそのメンバーになって一緒に検討した経過があるのです。その活動の一環として小諸駅を少し考えようというのがあって、当時大学の先生もいらっちゃって、小諸駅を見て回ったのです。その先生が言うには、駅というのは非常に建築学的には価値のあるところで、上手に保存すれば相当面白いものになるという様な事を言われた。私は建築学的にどういう点がというのは分からないのですが、専門家に言わせると駅は古いけれども価値があると。そういうことも含めて、市民の皆さんが、今、色々な角度から検討されていると思います。ですから、私共としては、小諸市の行政、或いは、市民の皆さんがそれぞれの立場から色々なことを考えて、一定の結論が出れば、基本的にはそれを尊重した形で進めたいと思っております。私共鉄道事業者として、今、具体的にこうだということは特に考えてないです。そうはいつでも、先ほどの意見にもありましたが、バリアフリーという観点では、やっていかなければいけない。必要なエレベーターの整備などはやっていこうと、基本的には今のところはそういうスタンスでやっております。

<議 長>

他はいかがですか。千曲商工会議所さん、どうですか。

ケ. 今、鉄道事業者としては、駅周辺の開発等については、主体的には関わりにならないという様に受け取ったのですが、屋代駅のエレベーター設置の事業があるのですけれど、うちの方でもたまたま、国のすすめる中心市街地活性化基本計画の策定を平成 27 年・28 年度に行う予定で、元々うちの方でやっている中心市街地再興戦略事業と絡み合わせていこうということになって、市の都市計画課と企画と産業振興課と私共が委員会を構成してやっております。そういう中に、しなの鉄道さんが入らないのか

どうかと。計画の中で[平成 27 年度計画案 (3)、3] 新しく地域のイベントですとか商店街の回遊といったのがありますよね、こういったプランを含めて、私共、駅から駅前通り商店街、それから稲荷山に至る道路を中心市街地ということで位置付けて、再生整備をしていこうと、特に駅付近については空き地も目立ってきているから再開発もやらなければいけないのではないかということと同時に、ソフト面では、通りの中で街中キャンパスみたいなことを展開しているのですよ。県のサービス産業室がやろうとしている移住者向けのコ・ワーキングスペース、そういったものを計画しているのですが、その中にたまたま、屋代駅長さんは、違う事業の中に来てもらって色々話を交換しているのです。駅長さんのところがあくまで窓口なのか、それとも、鉄道事業者としての企画や営業課が一緒になってやってもらえるのか、そこら辺が何とも分からない。地域のイベントとかがあっても、具体的に鉄道事業者側から提案があるのか、それとも私共が今やっている企画しているところに、情報交換して協力という形で何かやるのか、具体的な考え方があるのかどうか。大きく分けてふたつの点があるのですが。

<議 長>

誤解があってはいけないのですが、私は、鉄道事業者として、地域の町づくりとかに全く関わりたくないということを申し上げているわけではなく、先ほどの質問が小諸駅の駅舎の保存という観点でのご質問であったものですから、そういうお答えをしたのですが、私共は例えば地域の中における色々な町づくりであるとか、そういう点についてはむしろ、逆に、積極的に色々地域の一員として、ご意見を申し上げたいと思っております。常々申し上げているのですが、駅というのは「町のステーション」だと言っているのですね。単なる鉄道会社の施設だけではなく、或いは、お客様の乗り降りの場だけではなく、地域の皆さんがそこに行くとか何か面白い事があったり、或いは、そこに行くとか地域の色々な事が分かったり、そういう様な地域の駅「町のステーション」でありたいと思っております。そういう意味では、地域の皆さんと積極的に関わって、地域の中における駅の在り方というものについて、色々な意味で訴えて、場合によっては町づくり全体にもそういう観点から提言していきたいと思っております。行政の皆さんには、是非、色々な観点からの町づくりがあると思うのですが、そのひとつの核として、駅というものを利用してほしいと、かねがね自治体の皆さんにはお願いをしております。そういうことで、むしろ逆に、鉄道事業者としては、積極的に地域づくり、町づくりには関わっていきたくて思っています。組織的にも、今、社内に地域連携室という組織を昨年から新たに設けて、色々地域の皆さんと一緒に地域活性化、地域の元気になる様な取り組みというものを強めております。全国の鉄道会社のおそらく、地域連携室という組織を持っているのは、うちか、それか他にもあるかもしれませんが、ほとんど無いと思います。それだけ、そういう面には力を入れているという事なのです。あと、具体的にどう関わるかということは、テーマによって、例えば、地元の駅長さんが参加してやる場合もあるだろうし、或いは、もっと会社として全体として関わっていく様な問題であるならば、今の地域連携

室も含めて会社全体として関わると、様々な関わり方があると思います。いずれにしても積極的にやるというのが、私共の基本的なスタンスです。

他にございますか。無ければ平成 27 年度事業計画並びに予算について御了承いただけますでしょうか。

(異議なし。平成 27 年度事業計画並びに予算について一括して承認。)

(7) その他 (報告等 2 件)

ア. 平成 27 年度しなの鉄道線生活交通改善事業計画の一部変更について
事務局から資料に基づき報告。

<議 長>

これについてはこのように進めさせていただきます。

他にありますか？

イ. 今後の利用促進策について
事務局から資料説明。

<議 長>

今後の利用促進策という事で、大きくふたつございました。ひとつは利用促進計画という事で、総合連携計画は昨年度で終了しておりますけれども、引き続き 3 ヶ年の利用促進計画を作りたいという事が 1 点。それから、北しなの線の運営協議会との連携なんです。昨年 11 月の活性化協議会で当面の間、当協議会と北しなの線の運営協議会とは一本化をしないで、それぞれ活動する。ただ、相互の連携も必要であるということで、連絡会を開催するという事で合意されている。連絡会の開催時期については 2 回やるということになっています。この点について何かご意見ご質問はございますか。

<議 長>

今日は、信濃町の課長さんもお見えになっておりますが、何か一言ありましたらお願いしたいと思います。

コ. 今年 3 月 14 日に開業しました北しなの線につきまして、しなの鉄道さんのご努力下、JR の乗降客と同じ様な利用をしていただいで、駅業務も町が受けて、振興局という組織に再委託したということで、非常に心配していたのですが、鉄道業務は順調に推移しまして、町も活発的にこれからやっていく。先ほど会長も申された通り、地域のステーションという事ではどんどん駅前がシャッター通りとなり困っている。地域の連携という事で飯綱町さんとも連携して、長野市さんとも連携させていただく中で観光の面で出来れば、こういう交換会を開催させていただいて、妙高高原駅から軽井沢の

その沿線の観光面でも、是非、意見交換をさせていただく場が今回このように提案させていただいた中でできるというのは、大変うれしく思っております。今後ともよろしくお願い致します。

<議 長>

ありがとうございました。

北しなの線の営業戦略については、やはり広域連携がどうしても欠かせないと思っております。是非、観光の面からも今後連携を深めていかなければいけないと思っております。よろしく申し上げます。

<議 長>

他にございますか。

それでは、ご意見が無い様ですので、本日予定をしていた協議事項は以上でございます。この際何かございましたらお伺いしたいと思います。

よろしいですか。

(特になし)

4 閉 会

以 上